

# 闘虎

No. 29  
Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
平成24年 冬季号



## 松本隆太郎・篤史が全日本兄弟優勝！

### 天皇杯全日本レスリング選手権大会

12月21～23日、代々木第2体育館において「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。今大会は、いよいよロンドン五輪選考に大きく係わるため、異様な緊迫感のある試合が続出。その中で、日本代表として定着感のあるグレコローマン60kg級の松本隆太郎（千代田jr一館高一日体大一群馬ヤクルト販売）は、足元をすくわれることなく磐石の優勝。フリー84kg級の弟・松本篤史（千代田jr一館高一日体大一ALSO）は、山口国体決勝で苦杯をなめた仇敵・門間順輝に完全リベンジ。遂に悲願の兄弟全日本制覇を成し遂げ、いよいよ「兄弟五輪出場」が現実化に向けて始動した。また、グレコ74kg級で福田翼（富実高一拓殖大4年）が2回戦で、優勝候補の金久保武大を破るなどの快進撃で決勝進出。決勝では惜敗したが堂々の準V。さらに、グレコ66kg級の富塚拓也（明和C一関学大附高一日体大4年）も第3位となり表彰台に上がった。



「本番の方が力を発揮する」と定評のある杉田強喜

# 杉田強喜（太商） 関東選抜で第2位！

## 関東選抜高校レスリング大会

2月4・5日、茨城県立スポーツ

センターにおいて「関東選抜高校レスリング大会」が行われた。昨年優勝の今村聖ら主力が「つそりと抜け、

戦力ダウン気味の太商だったが、66kg級に出場した杉田強喜が一人気を

吐き、準決勝で霞ヶ浦の選手に堂々の勝利。決勝で惜敗したものの、県内唯一の決勝進出として意地を見せた。

団体戦では、県第1位として臨んだ館高が山梨農林、足工大附高を破つての第3位となつた。

団体戦の順位と全国選抜出場枠を

獲得した個人戦入賞者は次のとおり。

【団体戦】①霞ヶ浦 ②埼玉栄 ③

館高 ③花咲徳栄

【個人戦】◇50kg級 ③金子悟士（館高） ◇60kg級 ⑤中村旭昇（館高）

◇66kg級 ②杉田強喜（太商） ◇74kg級 ③中里貴大（館高） ◇

84kg級 ⑤川島範之（大泉） ◇96kg級 ⑤矢島新（富実） ◇120kg級 ⑤平山燎（大泉）

⑤佐俣竜斗（富実）

## 日比野圭汰が好成長！ 最優秀選手賞を受賞！

### 館林スポーツクラブ交流大会

1月9日（月）、城沼総合体育館

において「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。地元・館林ジュニアの日比野圭汰が好調、最優秀選手賞を獲得した。

優勝者は次のとおり。  
【中学生男子】◇38kg級 日比野圭汰（館林） ◇59kg級 川上直也（明和）

## 今村直樹怒濤のV7！ 石山浩基念願の初V！ 全日本マスターズ選手権

1月15日（日）、国立オリンピック青少年センターにおいて「全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。連勝中の今村直樹がV7



MVPを獲得した日比野圭汰（館林）

なでしこGUNMAの  
レスクリーン



太田市立商業高校  
小島 可奈子さん（1年）

下調べをして予備知識はありました  
が、「レスリングは本物の格闘技だ」と  
と思った反面、とてもやりがいのある、  
楽しい競技だと思います。それ  
と身体に筋肉がついて、少しだけ上  
達しているという実感が得られます。  
あこがれの選手は特にいませんが、  
自分のスタイルを持つている人はすご  
いと思います。目標は、チビッコ  
レスリングをやっていた選手に「追  
いつき追い越せ」です。将来は、も  
っと世の中にレスリングを広められ  
る職業に就きたいと思います。

# HERO'S IN GUNMA



福田 翼 選手  
(拓殖大学4年)

全日本大学グレコ選手権では、わざわざ群馬から駒沢まで平日にもかかわらず応援に来てくれた人がいたのに、優勝を逃し第3位でしたので、その人に「全日本では優勝を狙います」と約束しました。全日本でも結果的には第2位でしたが、優勝を目標に頑張ったからこそ、優勝候補に勝ち、決勝まで行けたと思います。来春から就職ですが、できる限りレスリングは続けたいと思います。

**木村優太MVP獲得！  
寺田有輝も優勝飾る！  
千代田近接少年大会**

【フレッシュマン】 ◇ 69kg級 石山浩基（館林 Jr.）

に伸ばし、健在振りを見せた。また、子どもが館林ジュニアでレスリングを始めたのがきっかけで、一緒に習い始めた「保護者レスラー」石山浩基が大会5回目にして遂に初優勝を飾り、地元の新聞「シャトル」の1面を飾った。

ユニアの入賞ラッシュが目立ち、寺田有輝が初優勝、エース木村優太は最優秀選手賞を獲得した。

【中学生男子】 ◇ 42kg級 寺田有輝  
 (千代田)  
 ◇ 66kg級 木村優太(同)  
 ◇ 85kg級 勅使河原延明(前橋)  
 【中学生女子】 ◇ 58kg級 今村南穂  
 (OSA)

中村旭昇と佐俣竜斗が

JOC関東地区予選

**加藤敦史、江田健一郎  
地元館林2人が優勝！**

関東甲信越少年大会

2月26日（日）、城沼総合体育館において「第20回関東甲信越少年少女レスリング大会」が行われた。ジュニアでは、全国大会に次ぐ規模の大きい大会で、地元館林ジュニアの加藤敦史と江田健二郎がよく迎え撃ち、見事優勝。また、重量級のホープ・勅使河原延明が千代田近接に続き優勝を果たした。

【中学高校女子】 ◇ 56 優勝者は次のとおり。

(西邑樂) 中学生男子 ◇ 38kg級 江田健二  
 郎(館林) ◇ 66kg級 木村優太(千代田)  
 ◇ 85kg級 勅使河原延明(群  
 大クラブ) ◇ 24kg級 加藤敦

史  
(館林)

岩手県山田町でボランティア活動を行った。現地では瓦礫の撤去などを実行し、地元ボランティアセンターや家主に大いに喜ばれ、レスリングの力、コミュニケーションを実証した。

また、今回とは別に群馬県市町村会で行った被災地支援事業に、館林市役所を代表して、館林ジュニアの田部井修コーチを宮城県女川町へ派遣。かつてのヨルダンでの海外青年協力隊の経験を大いに活かした。



スポーツの力・レスリングの団結力を実証！

県レスリング協会・柳川益美会長がリーダーとなり、松本篤史、富塚拓也、群馬大学レスリング部、日本体育大学・松本慎吾監督、柄木出身の現全日本王者・斎川哲克選手たちの総勢29人で被災地支援チームを結成、

# 群馬のレスラー奮戦！ 被災地ボランティア



# クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第29回

富岡実業高校

今年で創立五十五周年!  
栄光と伝統を守りたい!

2年 主将 佐保 竜斗

我々富岡実業高等学校レスリング部は、今年で創立五十五周年を迎える伝統ある部です。富実の生徒は、全員高校に入つてからレスリングを始めるので、経験者は一人もいません。でも、本校OBである佐藤政樹監督のもと、毎日本当に楽しく、充実した練習を行っています。富実レスリング部の特徴は、本校を卒業した先輩方が入れ替わり立ち替わり、練習に参加してくださることです。OBの先輩方が熱心に教えることで、ぼくたちも練習に熱が入ります。OBの先輩方で代表的な選手といえば、今年度の天皇杯全日本レスリング選手権大会グレコローマンスタイル74kg級で第2位になつた福田翼先輩です。優勝候補を破つての決勝進出は、ぼくたちに勇気と感動を与えてくれました。

富実の練習は、肉体的には厳しいですが、みんなで頑張り乗り越えることで、忍耐力や精神力を鍛えることができます。また、チームの仲間、先輩、他の学校の選手など、信頼できる仲間がたくさんできました。ぼくたちは、OBの方々が築いてきた伝統や栄光を守れるように、これらも日々精進していきます。

## SCHEDULE

### ■全国少年少女選抜大会

3月10日(土)・11日(日)  
青少年オリンピックセンター

### ■全国高校選抜大会

3月27日(火)~29日(木)  
新潟市体育館

### ■ジュニアクイーンズ カップレスリング大会

4月7日(土)  
駒沢公園体育館

### ■JOCジュニア オリンピックカップ

4月21日(土)・22日(日)  
横浜文化体育館

### ■群馬県高校総体

5月11日(金)~13日(日)  
館林市民体育館



「  
思い出の一葉  
」  
レスリング

福島 和雄さん(太田市・43歳)

□この写真は、私が西邑楽高校2年のとき、城沼体育館で行われたオレゴン州チームとの日米親善試合のセレモニーでの一枚です。前から5番目にいるカメラ目線の男が私。試合は負けたと思います。私のレスリングでの最高の思い出を挙げるとした後、高校2年のインターハイ予選でした。当時、ゴリラのような体をした外山先輩はおそらくインハイでも上位に行くほど強い選手で、私はとても勝ち目がないと思っていましたが、果敢に攻めて攻めてフォール勝ちで、私がまさかの大金星の優勝! 私が65kg級の群馬県代表になりました。試合後、あの鬼の金子博先生に抱擁してもらつたときは、思わず泣いてしました。それまでの厳しい練習があつたからこそその感動の涙だったと思います。しかし、その後の霞ヶ浦高校でのインハイ強化合宿で地獄を見ました(笑)。